

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年5月

むきばんだ史跡公園

目

次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	1頁
5	主な事業に関する調べ	2頁
6	収入証紙取扱額調べ	6頁
7	現金の取扱状況	6頁
8	財産に関する調べ	6頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	8頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	8頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	8頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	9頁
13	備品の処分状況調べ	9頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
15	史跡情報の発信	9頁
16	見学(受付)者数	11頁
○	意見、要望等	11頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

（令和2年4月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	8	8					8	8	
現員	() 8	() 8	()	()	()	()	() 8	() 8	
過不足(Δ)	0	0					0	0	
臨時職員	0	0					0	0	
非常勤職員	0	0	3	3			3	3	活用補助員2人 史跡管理補助員1人

4 役付職員の調べ

（令和2年5月1日現在）

職名	氏名	在職期間		備考
所長	竹内 友徳	年	月 1	
次長	(兼) 澤 弘一		9	文化財局とっとり弥生の 王国推進課 課長補佐
係長	本池 優子	1	1	出納員

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
「とっとり弥生の王国」普及活用事業 (妻木晩田遺跡活用事業)	16,828	2,807	9	14,012
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・遺跡の歴史・自然のすばらしさを知ってもらい、親しんでもらうため、遺跡の歴史、自然、弥生の生活を体験する講座や集客を目的としたイベントを実施した。

(イ) 事業の実施状況

項目	日時	延べ参加者数
GWはむきばんだ日和!	5月3~6日	3,300
弥生のものづくり講座「土器炊飯」	6月9日	29
弥生のものづくり講座「弥生土器づくり」	7月6~7日	8
弥生のものづくり講座「土器の野焼き」	8月31日~9月1日	8
弥生のものづくり講座「銅鏝づくり」	3月15日	16
弥生の森講座「春の自然と弥生のくらし学習会」	4月21日	52
弥生の森講座「夏の自然と弥生のくらし学習会」	7月21日	48
連続講座「まるごと鹿」	8月25日ほか計3回	36
むきばんだ遺跡土曜講座(年5回)	6月29日ほか	122
星空観察会 in むきばんだ	7月28日	45
星取ウィーク	7月23~28日	60
体験学習事業「はっくつ体験」	5月~11月(日,祝日)	160
弥生体験利用者総数(お気楽♪弥生気分!含む)	常時(予約受付等)	6,983
ジュニアファンクラブ(年9回)	5月12日ほか	180
古代と自然探検隊	7月24日	64
なりきり弥生人生活	8月16,17,18日	50
竹とうろう制作講座	10月13日	35
ライトアップ☆むきばんだ	10月19~20日	150
弥生の森ミニフェスティバル	10月19日	50
冬の古代体験~特別な日曜日~	12月1,8,15,22日	570
むきばんだまつり	9月22日	中止
むきばんだ女子考古部(年10回)	5月27日ほか	84
第4回とっとり弥生の王国シンポジウム	3月1日	中止
合計		12,050

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・国史跡指定20周年記念イベントとして、竹とうろう制作講座、ライトアップ☆むきばんだ、弥生の森ミニフェスティバル、冬の古代体験等を開催した。ライトアップ☆むきばんだでは、竹とうろう制作講座で参加者が制作した竹とうろうを明かりにして遺物展示をしたほか、弥生のムラの復元建物や園路をライトアップし、ふだん見ることのできない夜の公園を散策していただくことで、遺跡の新たな魅力の発信を目指した。
- ・考古学に興味・関心が深い大人を対象にした連続講座「まるごと鹿」を開催した。計3回の講座で各回とも外部講師を招聘し、「鹿角を素材にした漁撈具づくり」「骨ト(こつぼく)体験」「鹿革のなめし体験」を行うとともに講師に講義をしていただくことで弥生時代のものづくりについて理解を深めていただくことを目指した。

事業名 「とっとり弥生の王国」普及活用事業（妻木晩田遺跡活用事業）

ウ 成果及び効果

- ・新たに開催した「ライトアップ☆むきばんだ」イベントには150名を超える来園者があり、むきばんだ史跡公園の新たな魅力を感じてもらった機会となった。
- ・1月～3月に実施した園外巡回展示において、埋蔵文化財センターや青谷上寺地遺跡整備室と連携して「とっとり弥生の王国」のPRも行うとともに、国史跡指定20周年を記念して特別展示もを行い、妻木晩田遺跡及びむきばんだ史跡公園の歴史と変遷を再認識していただく良い機会となった。

エ 課題

- ・新規層を含む、より多くのお客様に御来園いただき、身近に弥生時代を感じていただくとともに、提供する各種サービスに満足していただくために、イベントや講座の内容を改善し工夫し続ける必要がある。
- ・国史跡青谷上寺地遺跡と合わせて「とっとり弥生の王国」として一体的な情報発信を行うに当たり、その見せ方の工夫や連携強化の方策を検討する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業(保存整備)	9,759	4,748		5,011
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
・遺構の保護及び公開・活用のための環境整備を行う。				
(イ) 事業の実施状況				
・経年劣化による腐朽等が顕著な骨格復元竪穴住居(洞ノ原東側丘陵)の再整備を行った。				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・史跡公園内の復元建物は建築物ではなく特殊な建物(工作物)であり、公共建築工事標準仕様書に基づく品質管理が困難であるため、営繕課等による工事請負発注ではなく、むきばんだ史跡公園において設計・施工・工事監理を業務委託発注する方法に改めた。その際、設計・施工・監理の専門的な事項については、営繕課から技術支援を得た。				
ウ 成果及び効果				
・経年劣化による腐朽等が顕著で倒壊のおそれがあった骨格復元竪穴住居を解体撤去し、防腐処理等を行った部材に交換のうえ、補修を加えた基礎に新設した。この再整備工事により、来園者が安全に建物内に入れるようになり、竪穴住居の構造をより容易に理解していただけるようになった。				
エ 課題				
・復元整備から10年以上が経過し、全体的に復元建物の経年劣化が進んでいるため、年1~2棟の頻度で再整備や大規模修繕が必要となっており、再整備(大規模改修)の基本方針や事業計画を検討する必要がある。				
・整備公開エリアの解説等について、多言語対応ができていない(ガイダンス施設展示・パンフレットは整備済)。				
・史跡妻木晩田遺跡整備年次計画(第1期)の未整備箇所である仙谷1・8・9号墓と妻木山地区(F工区)について、整備方針の検討を行う必要がある。				
・平成29・30年度発掘調査によって新たに発見された3基の墳丘墓(=民有地)について、適切な保存活用を図るために追加指定が必要である。				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
妻木晩田遺跡調査整備事業(発掘調査)	19,250	9,371	4	9,875
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<ul style="list-style-type: none"> 妻木晩田遺跡の集落像を明らかにする。 				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> 妻木新山地区2区南側斜面部における第35次調査の実施 『妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2019』の作成 『史跡妻木晩田遺跡松尾頭墳丘墓群発掘調査報告—第33・34次調査、墳丘墓群総括報告』の作成 				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> 特になし 				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> 妻木新山地区で第35次調査を実施し、同地区2区南側斜面部中腹付近まで集落展開期(弥生時代後期前葉～中葉、1世紀後半～2世紀前半)の遺構が分布することを新たに確認した。 『妻木晩田遺跡調査研究年報2019』を刊行し、妻木新山2区丘陵斜面部における居住域の広がりや土地利用などに係る最新の調査研究成果を発信した。 『史跡妻木晩田遺跡松尾頭墳丘墓群発掘調査報告—第33・34次調査、墳丘墓群総括報告』を刊行し、松尾頭10区で新たに発見された松尾頭3～5号墓の築造時期や構造(3号墓では3基の埋葬施設を確認)、墳丘墓築造以前の土地利用(居住地として利用)の変遷過程に係る考古学的な調査成果、自然科学分析結果等をまとめ、最新の調査研究成果を発信した。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> 妻木新山地区2区南側斜面部中腹付近まで遺構の分布が認められ、斜面部も積極的に利用されていた状況が明らかになった。しかし、遺構の分布には偏りがあり、地形に応じて生活に適した場所を選択的に利用した状況が推定されるため、第35次調査成果と微地形の検討を踏まえて新たな調査区を設定し、妻木新山地区2区南側斜面部の土地利用状況の検証を行う必要がある。 過去の調査研究成果の整理と課題抽出、今後の史跡の整備や活用計画を踏まえた中長期的な発掘調査計画を立案する必要がある。 				

6 収入証紙取扱額調べ
有・**無**

7 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況
該当なし

イ つり銭の状況
該当なし

8 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	本年度異動状況						本年度末		備考	
			前年度末		異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
			面積(m ²)	価額(円)								
行政財産	(内訳)		1,453,899.00	不明						1,453,899.00	不明	
計			1,453,899.00	不明						1,453,899.00	不明	

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	本年度異動状況						本年度末		備考	
			前年度末		異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)		価額(円)
			面積(m ²)	価額(円)								
行政財産	(内訳)		2,028.14	518,655,990						2,028.14	518,655,990	
計			2,028.14	518,655,990						2,028.14	518,655,990	

行政・普通財産の区分	土地の権利区分	機関名又は施設名等	所在地	土地の面積等						立木の推定蓄積量			備考		
				前年度末面積(m ²)	本年度の異動状況			本年度末面積(m ²)	前年度末現在高(m)	本年度中増減高(m)	本年度末現在高(m)				
					増減別	異動日	面積(m ²)					増減理由		登記年月日	
行政財産	県有	むさびんだ史跡公園	西伯郡大山町 妻木 米子市淀江町 楯岡外	20,541.65	増加 H				H		20,541.65	20,541.65	0.00	20,541.65	
計				20,541.65	減少 H				H		20,541.65	20,541.65	0.00	20,541.65	
合計				20,541.65							20,541.65	20,541.65	0.00	20,541.65	

工 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

才 物 権

該当なし

カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

(令和2年3月31日現在)

区分	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
商標権	2 件	0 件	0 件	2 件	

(イ) 出願及び登録の状況

区分	名称	出願日	登録日	活用の有無
商標権	図形 (妻木晩田遺跡シンボルマーク) 第 4 5 8 0 1 9 7 号 (第 1 6 類)	H13.8.8	H14.6.28	無
商標権	図形 (妻木晩田遺跡シンボルマーク) 第 4 6 0 9 1 5 1 号 (第 4 1 類)	H13.8.8	H14.10.4	無
出願中	0 件	登録済	2 件	

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況
有・~~無~~

イ タクシーチケットの保有状況
該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当なし

イ 建物
該当なし

(2) 物品
該当なし

10 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況		借受先 住所氏名	備考
						借受期間	借料(円) 単価 本年度の借料		
土地	山林	妻木晩田遺跡発掘調査のため	米子市淀江町福岡字小真石清水1435-9	2800.36㎡	有	H31.4.1 ～ R2.3.31	丹願・年額 88,412 月額・年額	88,412 個人	
合計								88,412	

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
借受不動産	西伯郡大山町妻木11115-4	11.5	0

(2) 減免の考え方

職員駐車場の敷地は、米子市が所有しており、米子市と鳥取県が令和6年3月末まで無償で土地使用貸借契約を締結しているため。

(3) 使用料の見直し

令和2年3月15日実施

1.2 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

1.3 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考
			売払 棄却 の別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額・ 処分費用	
電気陶芸窯 (日本 電産シンポ (株) DAR-7M)	H19.7.12	R1.8.28	棄却	不調により稼働 せず、修理不能 のため	新たに購入した 電気陶芸窯の搬 入時、業者が無 償で引取り	円	
合 計							

1.4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合

有 ・ 無

1.5 史跡情報の発信

(1) 普及資料の発行

ア 図書

(単位：部)

名 称	内 容 等	発行部数		備 考
		無償配布	有償配布	
史跡妻木晩田遺跡松尾頭墳 丘墓群発掘調査報告書	第33・34次調査、 墳丘墓群総括報告	400	20	
妻木晩田遺跡発掘調査研究 年報2019	令和元年度発掘調査 概要報告及び分析結 果等の調査研究報告	400	20	
鳥取県立むきばんだ史跡公 園年報2018	平成30年度の史跡 活用事例等の報告	300		

イ パンフレット

(単位：部)

名 称	部 数	配 布 先 等
むきばんだ女子考古部活動 報告集	1,500	県関係機関、県内外観光施設、来園者配布用
むきばんだ20年のあゆみ	3,000	教育機関、観光施設、来園者配布用
倭人のつながり	600	第4回とっとり弥生の王国シンポジウム来場 者(参加申込者)配布用、公立図書館、教育機 関等配布用

(2) 出前授業の実施状況

機 関 名 (所在市町村名)	内 容
大山青年の家 (大山町)	施設利用団体 (小・中学校) の野外炊飯における火おこし体験指導
成実小学校 (米子市)	クラブ活動におけるものづくり体験指導
名和小学校 (大山町)	PTA行事におけるものづくり体験指導
米子白鳳高等学校 (淀江町)	クラブ活動におけるものづくり体験指導
青谷高等学校 (青谷町)	選択授業における土器づくり指導

(3) 出土品、写真、活用資料の貸出状況

貸出先名称 (所在市町村名)	貸 出 物
米子松蔭高等学校 (米子市)	大鍋、台、蓋、コンロ 各1台
特定非営利活動法人文化遺産の世界 (東京)	松尾頭10区の空撮写真データ 2点
鳥取県立大山青年の家 (大山町)	火おこし道具一式 7セット
株式会社ベストセラーズ (東京)	復元住居、ガイダンス施設外観、施設内展示の写真 各1点
崎津公民館 (米子市)	火おこし道具一式 (バケツを除く) 5セット
鳥取県立大山青年の家 (大山町)	火おこし道具一式 7セット
啓成公民館 (米子市)	火おこし道具一式 6セット
株式会社グレイル (東京)	妻木晩田遺跡遠景写真 1点
NPO法人クロスジョブ (米子市)	むきばんだ史跡公園復元住居写真 1点
株式会社NHKプラネット中部支社 (愛知)	貫頭衣 13着、管玉等装身具 1点、恵みテーブル展示用造形物一式
ブルガリア弥生展実行委員会 (東京)	妻木晩田遺跡復元竪穴住居写真 (洞ノ原地区西側丘陵・住居2) 1点、竪穴住居復元パース図 1点
八郷小学校 (伯耆町)	貫頭衣 2着
鳥取西部農業協同組合淀江支所 (米子市)	大鍋、台、蓋、コンロ 各1台
北栄町教育委員会 (北栄町)	弥生の館むきばんだ館内写真 1点
個人 (神奈川)	「第8図 BP-8における花粉分布図」 (妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2016) 1点 「第5図 仙谷墳墓群 調査区位置図」 (史跡妻木晩田遺跡仙谷墳丘墓群発掘調査報告書・史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第V集) 1点 洞ノ原地区写真「環濠空撮 (西から)」 1点 仙谷2・3・5号墓復元写真 1点

16 見学（受付）者数

（令和2年3月31日現在）

（単位：人、校、件）

一般（個人）	団 体
人 23,701	団体のうち学校の利用（小学校）28校（1,080人） （中学校）11校（507人） （高等学校）10校（111人） 学校除く各種団体の利用 129件（4,126人） 合 計（5,824）人

○ 意見、要望等

（1）業務に関する意見・要望等

特になし

（2）監査委員事務局に対する要望等

特になし

